

温室効果ガス排出量の削減目標案

国は「地球温暖化対策計画」（令和3年10月）において、温室効果ガス総排出量を2030年度に2013（平成25）年度比で46%削減、また2050年度のカーボンニュートラルを目標として掲げています。

本市の2030年度の温室効果ガス総排出量及び部門別の削減目標（案）については、国の目標と整合を図る①46.0%削減（中位ケース）、部門毎に野心的な施策の追加実施により削減量を上積みした②49.3%削減（高位ケース）を表1に示す。

表1 2030年度 温室効果ガス排出量削減目標案

部門	削減比率	
	①中位ケース	②高位ケース
総量	46.0%	49.3%
家庭部門	66%	70.7%
産業部門	38%	40.7%
業務その他部門	51%	54.7%
運輸部門	35%	37.5%

※総排出量には、エネルギー起源の二酸化炭素排出量以外も含まれます。

※削減目標は、「2030年度におけるエネルギー需給の見通し」（資源エネルギー庁）に示された2030年度の電力排出係数0.25kg-CO₂/kWhに改善する効果を考慮したものとします。

再生可能エネルギー導入量目標案

2030年度の再生可能エネルギー導入量目標については、温室効果ガス排出量の削減目標を踏まて①中位ケース、②高位ケースを表2に示す。

なお、2050年度については、再生可能エネルギーを最大限導入5,104.8TJ（1,417,989.2MWh）することを想定しています。

表2 2030年度 再生可能エネルギー導入量の目標案

部門	導入量	
	2030年度	
	①中位ケース	②高位ケース
再生可能エネルギー導入量	952.4TJ (264,565.2 MWh)	2,018.4TJ (560,546.8 MWh)
市再生可能エネルギー導入ポテンシャルの割合	18.7%相当	39.5%相当